

年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(保健)対象:(第1学年M1組~S組)

教科担当者:(M1組:◎)(M2組:◎)(E組:◎)(A組:◎)(S組:◎)

単位数 1 教科書 最新高等保健体育(改訂版) 大橋館

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
4月	<p>保健授業に関する導入 健康への意識と理解 1単元 現代社会と健康</p> <p>健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。 また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。 健康の保持増進には、健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりがかかわること。</p> <p>①健康の考え方と成り立ち</p>	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p> <p>特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p>	<p>授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する</p> <p>①健康の考え方と成り立ち 平均寿命がのびた要因、病気の傾向について理解することが出来る。</p>	3
5月	<p>1単元 現代社会と健康</p> <p>健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。 また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。 健康の保持増進には、健康に関する個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりがかかわること。</p> <p>②私たちの健康のすがた ③健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり</p>	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p> <p>特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p>	<p>授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する</p> <p>②私たちの健康のすがた 一般的な健康に対する考え方について自分の考えを持つことが出来る。</p> <p>③健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり ヘルスプロモーションの概念について理解することが出来る。</p>	3
6月	<p>健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和がとれた生活を実践することが必要であること。 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。 また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。 それらの対策には、個人や社会環境の対策が必要であること。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。 その予防には個人及び社会的な対策が必要であること。</p> <p>④生活習慣病とその予防 ⑤食事と健康 ⑥運動・休養と健康</p>	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。</p> <p>特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p>	<p>授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する</p> <p>④生活習慣病とその予防 生活習慣病の原因と予防について理解することが出来る。</p> <p>⑤食事と健康 栄養と健康の関係について理解することが出来る。</p> <p>⑥運動・休養と健康 運動と健康の関係について理解することが出来る。</p>	3

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
7月	<p>健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和がとれた生活を実践することが必要であること。 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。 また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。 それらの対策には、個人や社会環境の対策が必要であること。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。 その予防には個人及び社会的な対策が必要であること。</p> <p>⑦喫煙と健康 ⑧飲酒と健康</p>	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p>	<p>授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する</p> <p>⑦喫煙と健康 喫煙と健康被害について理解することが出来る。</p> <p>⑧飲酒と健康 飲酒と健康被害について理解することが出来る。</p>	3
8月				
9月	<p>健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和がとれた生活を実践することが必要であること。 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。 また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。 それらの対策には、個人や社会環境の対策が必要であること。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。 その予防には個人及び社会的な対策が必要であること。</p> <p>⑨薬物乱用と健康 ⑩感染症とその予防 ⑪性感染症・エイズとその予防</p>	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p>	<p>授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する</p> <p>⑨薬物乱用と健康 薬物の健康被害について理解することが出来る。</p> <p>⑩感染症とその予防 感染症の予防と健康被害について理解できる。</p> <p>⑪性感染症・エイズとその予防 性感染症・エイズの予防と健康被害について理解できる。</p>	4

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
10月	<p>健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和がとれた生活を実践することが必要であること。 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。 また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。 それらの対策には、個人や社会環境の対策が必要であること。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。 その予防には個人及び社会的な対策が必要であること。</p> <p>⑫欲求と適応機制 ⑬心身の相関とストレス</p>	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p>	<p>授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する</p> <p>⑫欲求と適応機制 欲求の種類と様々な適応機制について理解できる。</p> <p>⑬心身の相関とストレス 心身の相関とストレスの関係と健康被害について理解できる。</p>	3
11月	<p>健康の保持増進と生活習慣病の予防には、食事、運動、休養及び睡眠の調和がとれた生活を実践することが必要であること。 喫煙と飲酒は、生活習慣病の要因になること。 また、薬物乱用は、心身の健康や社会に深刻な影響を与えることから行ってはならないこと。 それらの対策には、個人や社会環境の対策が必要であること。 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。 その予防には個人及び社会的な対策が必要であること。</p> <p>⑭心の健康のために ⑮交通事故の現状と要因</p>	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p>	<p>授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する</p> <p>⑭心の健康のために 自己表現と心の健康の関係を説明できる。</p> <p>⑮交通事故の現状と要因 若者の交通事故の特徴を説明できる。</p>	3
12月	<p>人間の欲求と適応機制には、様々な種類があること。精神と身体には、密接な関連があること。 また、精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であること。</p> <p>⑯交通事故を防ぐために ⑰応急手当の意義とその基本</p>	<p>個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。</p>	<p>授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する</p> <p>⑯交通事故を防ぐために 安全な交通社会づくりのための対策を、例をあげて説明できる。</p> <p>⑰応急手当の意義とその基本 適切な応急手当の意義を説明できる。</p>	3

	指導内容 【年間授業計画】	科目〇〇の具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点等	予定 時数
1月	人間の欲求と適応機制には、様々な種類があること。精神と身体には、密接な関連があること。 また、精神の健康を保持増進するには、欲求やストレスに適切に対処するとともに、自己実現を図るよう努力していくことが重要であること。 ⑩応急手当の意義とその基本	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する ⑩応急手当の意義とその基本 適切な応急手当の意義を説明できる。	3
2月	交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備などがかわること。 また、交通事故には責任や補償問題が生じること。 ⑪日常的な応急手当	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する ⑪交通と安全な行動 ⑫交通安全と安全の確保 交通事故の怖さや安全の意識を高められたか。	3
3月	第5節 応急手当 適切な応急手当は、傷害や疾病悪化を軽減できること。応急手当には、正しい手順や方法があること。 また、心肺蘇生法の応急手当は、傷害や疾病によって身体が時間の経過とともに損なわれていく場合があることから、速やかに行う必要があること。 ⑫心肺蘇生法の原理とおこない方	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。 特に、第1学年の「現代社会と健康」では、我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、個人の行動選択やそれを支える社会環境づくりが大切であるというヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることを理解できるようにする。	授業への出席、態度・取組、期末考査の成績及び授業時に作成しているノート・プリント等の内容点検の結果を総合的に判断する 応急手当について理解する。 心配蘇生法の実践を正しく行うことができる。	2